

札幌で総会を開催

気候変動に挑む北海道農業



日原渥一副会長（栗山町）が開会の辞を述べたあと、谷上保治会長（共和町）が挨拶に立ち、現在の農業が直面する課題について言及した。とくに北海道の気候変化が栽培に大きな影響を与えていることや、農業者の高齢化を指摘し、会の活動をさらに発展させる意欲を示した。

続いて、同会協賛会員の岩瀬裕雄理事長（MKVアドバンス北海道営業所長）と、同会の事務局を務める大学農園の佐藤昌弥社長が挨拶を行った。岩瀬理事長は、生産資材の価格上昇による農家の負担増に触れ、協賛会として製品や技術を通じて北海道農業に貢献していく姿勢を示した。一

市場は入荷減
と単価高進む



協賛会・岩瀬理事長



大学農園・佐藤社長

農業の發展に寄与する 玉傾向が見られ、病害 企業でありたいとの決 の發生もあつて生産者 意を述べた。 が対応に苦労したこと が報告された。ただし、 このあと、協賛会の 店頭でのブロック販売 やカッター販売は比較 ねなど6社による商品 好調に推移しており、 説明が行われ、続いて 消費者ニーズに合った 札幌みらい中央青果の 形態で販売が進んでい 市況報告に移った。は ると述べた。また、メ じめに果実第二部の柿 ロンのギフト需要や輪 崎通浩次長が果実の入 出向けは微減傾向であ 荷動向について説明し った。高温化により品 質やサイズに影響が出 した。今シーズンは、リ 質やサイズに影響が出 ンゴや桃など道外産果 やすいことから、今後 樹の入荷が全体的に減 高温対策を講じなが

少しており、前年と比較、安定供給に向けたとしても数量の確保が難しい状況であるといとまとめた。

一方、道内産メロウ、次に野菜第一部の谷ンやスイカについて、口健課長が青果物の状況について報告した。年並みであったものが全国的に入荷量は減少のお盆明け以降は小が続く一方、単価は上

道農業を応援する番組として毎週土曜日に放送されており、番組で取材してきた生産者の取り組みや農業の魅力を紹介した。森氏は道内の生産者が頑張っている姿を、これからもテレビを通じてしっかりと伝えていきたい」と述べて、農業への真摯な思いが伝わる内容であり、参加者から好評を

歴史を誇るキン
ティー会は、北
の気象条件に適し
て栽培技術の普
通品種の評価、資
料品種の評価、資
料品種など、多岐に
わたる課題に取り組
んだ。近年は高温化
が進み、果実品の
品質が大きく、果実品
質安定化や省力化技
術が重要なテー
マとなっている。今回
は、同会を支える協賛
会との連携を深める中
で、高品質生産に向け
て取り組むべき課題が
共有され、産地として
進むべき方向が明確に
なった。今後とも会員相
互の情報交換を重ねな
がら、気候変動に対応
した栽培技術の向上を
図り、活動を続けてい
く方針である。

暑さと向き合う時代に

北海道キングメルティー会

会長 谷上保治



昨今、農業情勢がめまぐるしく変化しております。最近つくづく思うのですが、北海道の農業というのは、本来「寒さに打ち勝つ農業」だったのですが、それが今では、夏の暑さにどう対応するかを考えると話すべきでない状況になってきました。気候そのものが大きく変わってきています。それに加えて、日本の農業人口

の平均年齢が69・6歳と発表されています。私は今70歳ですが、私のような年齢の者が平均になるというのは、本当に農家人口がどんどん減っているのだなと強い危機感を覚えます。資材メーカーの皆さんと話してもありますが、生産者が減っていくと農業機械の資材も販売が縮小してしまつことを憂慮しています。やはり、

生産者が一人でも多く、できるだけ長く農業を続け、日本の食料を守っていかなければなりません。国の政策ももちろんありますが、まずは我々自身が元気で、一年でも長く現場に立ち続けることが大事だと思っています。来年以降もメルティー会がしっかり存続していけるよう、引き続き努力してまいります。

HBC北海道放送 森アナウンサーが講演

～北海道農業を応援～

続いて、HBC北海道放送アナウンサーの森結有花氏が「どろんこアナウンサー」9年目、畑が教えてくれたものをテーマに講演した。「あぐり王国北海道NEXT」は北海

がんばれニッポン農業!!

全野研推奨品・有機JAS対応



針葉樹木酢液

木紅木

キクノール[®]

土 壤
改良材

植 物
活性液

キクノールとキトサンで
連作障害を克服する!!

30倍～500倍

水耕・養液栽培にも

ph2.2～2.8



100%純正



天候に左右されない土づくりと
病害虫に負けぬ樹づくりで
糖度・旨み・日持ちUP!!



有限会社

木紅木

(きくもく)

福島県いわき市好間町上好間字大畑100

TEL **0246(36) 5016** (代)

FAX 0246(36) 2314

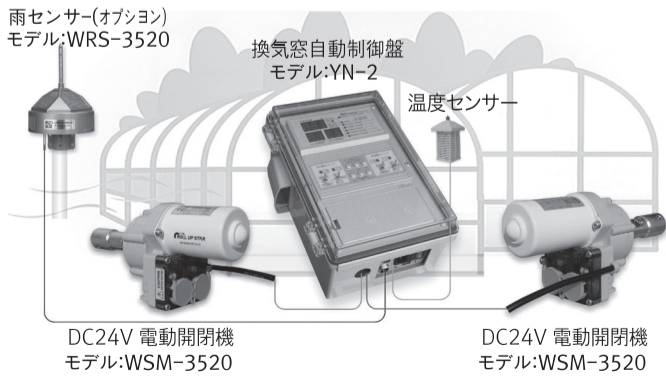
<http://www.kikumoku.co.jp>

お問い合わせはお気軽に! サンプル無料送呈中!!

単棟ハウス用 ビニール巻上げ換気装置

SMART KIT!!

SMART KIT 自動換気システムは生産者の労力を軽減しさらに生産性を高めます！
人と作物に快適な環境を作りだします！




雨センサー(オプション)
モデル:WRS-3520

換気窓自動制御盤
モデル:YN-2

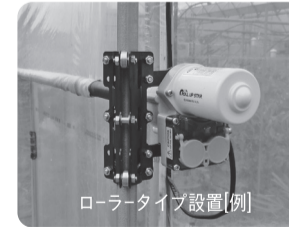
温度センサー

DC24V 電動開閉機
モデル:WSM-3520

DC24V 電動開閉機
モデル:WSM-3520




アームタイプ設置[例]



ローラータイプ設置[例]


アームタイプ構成



YN-2 WSM-3520 2台

カップリング2セット ガイドアーム2セット

ローラータイプ構成



YN-2 WSM-3520 2台

カップリング2セット ガイドローラ2セット

雨センサー



オプション

モデル:WRS-485

3面立体感知方式
乾燥(発熱)機能
感度調節機能

WSH 友成HITEC

http://www.wsh.co.kr
e-mail:wsh@wsh.co.kr

販売代理店

※ 九州地区: (株) JKC アグロ (0965)46-0415

※ 四国地区: (株) 石原 (087)898-5294

※ 中部地区: KANEYA CO.,LTD (0569)65-1256

※ 北海道地区: (株) 大学農園 (0167)22-8700

※ 北海道地区: (有) 矢野アグリ (0142)82-5366

多収への道・見る力を養おう

キユウリ栽培技術の第一人者として知られる稲山光男氏が、佐賀県の「ＪＡさがトレーニングファーム」の研修生を対象に基礎講習を行い、栽培管理の基本と農業に向き合う姿勢を伝えた。基礎的な内容ではあるが、読者の方々もあらためて初心に立ち返り、稲山氏の言葉から原点を感じ取っていただければ幸いである。

稲山光男氏の基礎講習(1)

私は山口仁司さん（武雄市）とは昔からのお付き合いがありまして、トレーニングファームができた当時からお世話になっていました。皆さんにお会いできて、本当にうれしい気持ちでいます。

私は研修生の皆さんと初めて会ったときは、「やめるなら今のうちですよ」と言っていました。資金で栽培を始めた方もいますが、皆さんはJ Aがセッティングしてくれたハウスでキュウリを作ることができませんが、借金を背負うのスタートになります。いまはハウスの工費が非常に高く、1坪あたり10万円以上はするでしょう。1970年頃は1坪4千円でよいから、という話をしました。12月に種をまいて、それが今ではまったく違います。ハウスを建てるだけでも大変ですし、資材も高い。ですから私はいつも「やめるなら今のうちだよ」と言います。でも、皆さんはこれから夢を持つて栽培を始めるわけですから、キュウリを作るにはどうしたらよいか、という話をしましょう。

います。農業は一度始
めてしまうと、やめら
れなくなるからです。
山口さんのように自己
年明けごろに定植し、
6月まで収穫すれば1
年か2年で元が取れる
ような時代です。



稲山氏の講義を熱心に聴くJAさがトレーニングファームの研修生

稲山光男氏プロフィール

1962年(昭和37年)に埼玉県農業試験場・越谷支場に勤務し、以来一貫して施設園芸、特にキユウリの研究・技術指導に携わる。1967年から菜花き部(そ菜担当)に所属し、1991年にはそ菜部長に就任。施設栽培キユウリの品種特性調査、作型開発、増収技術、高品質生産技術、環境制御法の確立に取り組んだ。1996年に埼玉県園芸試験場の副場長、1997年に鶴ヶ島洪積畑支場長を歴任。2000年には埼玉県農林総合研究センター園芸支所長として、研究現場の総括を務めた。

2003年からは大洋興業㈱技術顧問

などを務め、2009年から2021年まではMKVドリーム(株)(現・MKVアドバンス)開発センタ―守谷の技術顧問として活躍し、多収穫、秀品率向上などの効果があるNFT・散水毛管水耕栽培「かつばフンド」(三菱ケミカルアクア・ソリユーションズ株)が継承・販売の開発に携わった。

取り組むわけですが、

農業生産というのはど
んな作物でも絶対的に
多収でなければなりま
せん。とにかく量を取
らなければ駄目です。
取るべきです。たくさ
ん取れば、その中でい
いものは高く売れる
し、曲がり果なども何
らかの形で売れます。
栽培期間が長ければ
長いほど有利なのは確
かですが、重要なのは
草勢を維持すること。
つまり、キュウリの木

1980年前後、いわゆる飽食の時代と呼ばれた頃は、景気がよくて量より質という時代がありました。研修会でも「高品質なものをつくろう」と盛んに言われていました。しかし、私や山口さんはとにかく量を取らなければだめだ」と言い続けました。それが山口さんがよく言っている40センチなのです。

では、どうすればたくさん取れるのか。それは雌花をたくさんつけることです。トマトはどこに花がつくか決まっていますが、キュウリは違います。どこに雌花がつくかわからない。キュウリの花は節のところにてきます。最初は雌花でも雄花でもなく、あるときにどちらかになる。最初から男に生まれた、すい環境をつくる。

を常に元気な状態に保たなければなりません。草勢を強くしておかないと節数も伸びない。それには地上部と地下部の環境を整えることがその鍵になります。地上部は温度・湿度・光・炭酸ガスなど。地下部は地温・水分・養分・酸素など。この両方をうまく管理して、キュウリが育ちやすい環境をつくる。

まずは量を取る
ことが基本

これから皆さんは
変な思いをして栽培

どうしても無理が出ま
も増えません。つまり、
たくさん取れば、
たくさん取るためには

通路が硬くなる ほど見にくい

～現場で感じ、考えることの大切さ～

それと土づくりですが、単に堆肥をたくさん入れればいいというものではありません。物理性や化学性を持った土にすること。これが本当の土づくりです。だから「堆肥を入れればいい」という単純な話ではなく、キユウリが対応できるような土壌にしていくことが大切です。

生産者は「キュウリを作る」と言いますが、

実際にキウリが育つのを手伝っているだけに、育ちやすい環境を整えてあげることが大切です。要するに、地上部では光合成をいかにうまくやらせるか、地下部では養分吸収をどう高めてやるか。これを管理するのが生産者の役目です。そのために毎日ハウスに入り、観察することが何よりも大事です。私はいつも言っています、大事なことは「見ること」です。私が埼玉県の試験場で助手をしていた時に「キウリがどのような生

けれども、毎日通っているうちに、何か感じるものが出てくるのです。ですから若い人によく言っているのは「ハウスの通路が硬くなるほど毎日行きなさい」と。朝、昼、夕方、それぞれ見に行く。そうすると、何か感じるものが出てきます。それが観察です。

そして「なぜ、どうしてそうなったのか」と考えることが大事です。私は研究員でしたから、見る角度が皆さ

現場を回る中で、温度が足りなくてキウリす。わかりました。つまり夜の温度管理で枝を出させることができる。いま皆さんが「夜温管理が大事だ」と言っていますが、その元になったのは、そうした現場の気づきなのです。

だから「なぜ」「どうして」と思ったとき、それに必ず対応すること。温度が高い・低い、水が足りる・足りない、肥料が効いている・足らない。そうした要因を自分でつかんで修正していく。これが栽培者としての力になります。

から1か月で一生が決まります。この期間の管理がその年の栽培を左右しますから、この間とはとにかく一生懸命やらなければなりません。

もう一つ大事なものは定植と活着です。これがまず第一歩。いまは苗を購入する人が大部分ですが、届いたら苗の状態をよく見て判断できるようにしなければなりません。1日置いてから植えるとか、少し広げて置いておくなど、状態を見て調整する必要があります。そして定植したあと

株元だけマルチを空けると、そこから湿度が上がって苗のまわりを包みます。全面マルチにすると湿度が下がってしまい、苗が弱ります。小さな苗ほど湿度

が大事です。こうした微妙な管理の積み重ねが活着を左右します。研修生の皆さんはトレーニングファームを卒業して自分の経営を始めていくわけですが、最初の3年で自分のまユウリ作りの形が決まります。その3年間で考え方や管理の方法を固めないと、いつまでも「今年は良かった」

最初の3年で
自分の形作れ
キウウリは定植して
は、地温が20℃～25℃く
悪いかなと言いた
らいあるのが理想で
の栽培で終わってしま
す。普通は全面マルチ
をしますが、定植後に
(次号につづく)

OS
交配

この夏・秋の定番実力品種!!

最高品質・シャリツとおいしく食感抜群

バランス良い耐病性品種
かつぱん強し

複合耐病性品種
ウドンコ・褐斑・ベト病に強い

ゆうみ (結実) 637

1月～3月まき用

エクセレント620

1月～10月まき月

ちなつ PVP
第20749号

1月～8月まき用

席卷普及実力品種

エクセレント節成

1号	7月～9月まき用
2号	1月～8月まき用
353	1月～8月まき用

相性ひったり、バランス OK
ブルームレス台木

ゆうゆうー輝黒タイプ^o R K-3

R K-3

Re: ストロングー輝

Re: エキサイトー輝

新品種


 株式会社 埼玉
 〒346-0105
 TEL: 048-

きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
埼玉原種育成会
埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2,616 番地
0-85-0854 (代) FAX: 0480-85-0407



OS 交配種子 発売元
株式会社 シード
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2,616 番地
TEL : 0480-85-7211 (代) FAX : 0480-85-0407

ミニトマト高収量を実現

先進設備で省力化と品質を両立

長崎県諫早市長田町
中村則之さん



長崎県諫早市の中村さんは35歳の規模でミニトマトを栽培している。8月上旬から中旬に定植し、翌年6月まで収穫が続く。家族2人とパート3人で作業を分担して省力化と品質向上を両立。ハウスには灌水装置やCO₂供給装置を導入しており、トマトに快適な環境づくりを徹底する。「消費者に良いものを届けたい」との思いが、日々の管理に表れている。ミニトマト栽培を始めたのは17年前。父親がハウスみかんを栽培しており、果樹からの転作として始めたのがきっかけだった。現在では地域でも屈指の生産者として知られ、諫早のミニトマト部会40名のうち、収量は常に上位3位に入るといふ。



外張りはMKVのスーパーダイヤスター



整然と管理されたトマト。樹勢が均一で果実の揃いも良い

MKVアドバンス

スーパーダイヤスターと
快適空乾を使用



内張りは透湿性に優れる快適空乾



自動灌水装置。日射量に応じて灌水する

現在のハウスは平成20年に国の補助事業を活用して建設した耐候性ハウスで、施工は八江グリーンポート㈱(諫早市)が担当した。栽培環境を支える主要資材として、フィルムはMKVアドバンス㈱のPOフィルム「スーパーダイヤスター」を展開している。高い透光性と耐久性を兼ね備えた8年耐久の無滴フィルムで、長期間にわたり透明感を維持できるのが特長である。光合成に必要な光をしつ

かり通すため、果実の色づきや糖度の安定にもつながっている。さが高いため、健全な環境を維持できていると、中村さんは灌水量を、日射エネルギー1メガジュールあたり約250〜300リットルを基準に設定している。1メガジュールは、太陽光がもたらす熱量を示す単位で、1平方メートルに100万ジュールのエネルギーが当たることを意味する。施設園芸では、この積算日射量を基準に灌水量を制御することで、光合成量に応じた効率的な水管理を実現している。

日射連動の自動灌水

中村さんは灌水量を、日射エネルギー1メガジュールあたり約250〜300リットルを基準に設定している。1メガジュールは、太陽光がもたらす熱量を示す単位で、1平方メートルに100万ジュールのエネルギーが当たることを意味する。施設園芸では、この積算日射量を基準に灌水量を制御することで、光合成量に応じた効率的な水管理を実現している。

小鈴キングをメインに栽培

158」、サカタのタネの「グランシールド」の3つを、ハウスごとに適した組み合わせで選んでいる。「いずれの台木も青枯れは出にくく、最後まで勢いが続きます。ただキングバリアは若干力が強いので芯止まりが出やすい。今年はその調整に苦労しました」と振り返る。接ぎ木のバランと初期生育の安定を重視し、毎年データを記録して改良を重ねている。

高温期の対策として遮光ネットを活用。夏の強い日光で花芽形成が阻害されるのを防ぐ目的で、9月までは50%の遮光を施し、10月中旬には除去する。「温度を下げたい時期と光を取り込みたい時期を見極めることが重要」と語る。

今年8月1日に定植し、9月15日ごろから収穫を開始。翌年6月中旬まで長期取りを続ける。年間収量は10畝当たり約4ト、全体で14〜15トを安定的に確保している。

収穫後はトマトの樹を徐々になくす。ライド式誘引法を採用。下葉を取り除き、クリップを外しながら支柱沿いに主枝を降ろす。「追いつかない時期もあるが、これを怠ると後の玉が乗らなくなる」と話す。細やかな支える力になれば」と意欲を見せる。

「ミニトマトは手間も多いが、やりがいがある作物。若い人たちが減る中で、効率化と品質の両立が欠かせない。諫早のトマトを」と意欲を見せる。

中村さんは灌水量を、日射エネルギー1メガジュールあたり約250〜300リットルを基準に設定している。1メガジュールは、太陽光がもたらす熱量を示す単位で、1平方メートルに100万ジュールのエネルギーが当たることを意味する。施設園芸では、この積算日射量を基準に灌水量を制御することで、光合成量に応じた効率的な水管理を実現している。

日射連動の自動灌水

中村さんは灌水量を、日射エネルギー1メガジュールあたり約250〜300リットルを基準に設定している。1メガジュールは、太陽光がもたらす熱量を示す単位で、1平方メートルに100万ジュールのエネルギーが当たることを意味する。施設園芸では、この積算日射量を基準に灌水量を制御することで、光合成量に応じた効率的な水管理を実現している。

カトー動物質高級有機肥料

動物質有機肥料は、肥料分のほか、微量元素・アミノ酸・核酸・酵素も供給します。

◆ぼかし肥料の原料としてもお使い頂けます。

【特徴】

- *各原料の分解特性を考慮して設計配合してあります。
- *長期間の穏やかな分解で無機化も緩慢ですから、肥切れや濃度障害も緩和されむらのない養分供給が図れます。
- *土壌微生物を活性化し団粒形成・保水性・通気性の向上等土壌環境を改善されます。
- *連用しても作物・土壌を選ばず悪化させることはありません。

強力新微生物改良剤

ネニソイル



(株)加藤工業所 肥料事業部

〒322-0033 栃木県鹿沼市府所町 20
TEL 0289-65-3121 FAX 0289-65-3124
http://www.kato-industry.com

千葉県 キャベツ にんじん 審査会開催

第73回千葉県野菜品種審査会は、キャベツとにんじんを対象に審査会を開催した。

キャベツ 渡辺採種場が1位

キャベツの部は11月21日、旭市の農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所東総野菜研究室で行われた。千葉県はキャベツ生産量が群馬、愛知に次ぐ全国第3位であり、県内の主要産地（銚子市・旭市・野田市）では冬どり・春どりを中心に周年出荷体制が整う。しかし近年は猛暑に伴う生育障害や黒斑細菌病の多発が課題となり、産地では耐暑性・耐病性に優れた品種が求められている。

今回はサカタのタネ、トーホク、渡辺採種場など13社24品種が出品された。入賞は7

気候リスク高まる生産現場

千葉県はキャベツ産地は今、転換期を迎えている。温暖化の影響が強まり、安定生産の難度が増す中、県内の収穫量は約12万トと全国上位を維持しつつも、過去10年間で1割近く減少している。収



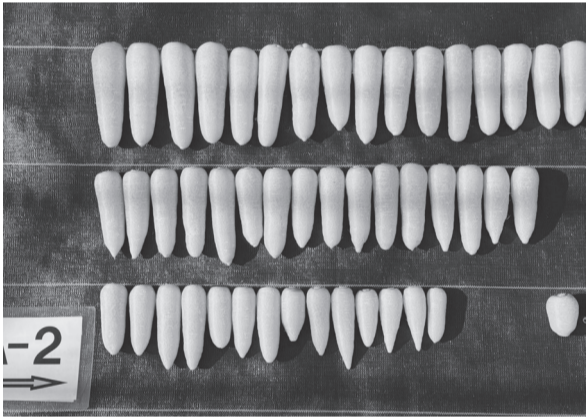
キャベツ収穫物審査の様子

千葉県品種審査会 キャベツ審査結果（入賞7点）					
順位	立毛	収穫物	合計	品種	出品会社
1	84.0	255.4	339.4	TCC536	渡辺採種場
2	82.5	253.9	336.4	MKS-C003	ヴィルモランみかど
3	86.5	246.4	332.9	T C 1217	渡辺採種場
4	84.0	245.5	329.5	ふうりん	サカタのタネ
5	82.2	246.8	329.0	TC7219	渡辺採種場
6	83.3	244.9	328.2	恋唄	トーホク
7	80.6	245.6	326.2	YR春楽	日本農林社



1位の渡辺採種場「TCC536」

千葉県品種審査会 にんじん審査結果（入賞6点）					
順位	立毛	収穫物	合計	品種	出品会社
1	85.5	253.9	339.4	F25-3	フジイシード
2	79.1	251.1	330.2	恋うさぎ	ナント種苗
3	83.5	245.0	328.5	TCH-786	タキイ種苗
4	74.6	251.7	326.3	FYC-039	住化農業資材
5	85.0	240.6	325.6	F25-1	フジイシード
6	84.3	237.0	321.3	ペーター536	サカタのタネ



にんじんの育種に特化したフジシードの「F25-3」が1位に

にんじん フジイシードが1位に

にんじんの部は12月4日、香取市の農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所で開催された。千葉県のにんじん産出額は116億円で、北海道に次ぐ全国2位を維持しており、重要野菜の一つに位置づけられている。主要産地は富里市、八街市、山武市、香取市などで、「春夏にんじん」と「秋冬にんじん」の両方が栽培されている点が特徴である。大消費地へのアクセスが良好であったことに加え、春夏から冬にかけて安定供給が可能な作型構成により、関東圏のみならず全国の市場へも安定的に出荷されている。

審査会には10社から秋どりの最新品種を中心に20点の出品があった。入賞は6点で、20名による厳正な審査の結果、1位はF25-3（株）フジイシード・大阪府箕面市）、2位は恋うさぎ（ナント種苗（株））、3位はTCH-786（タキイ種苗（株））となった。

村田の苗は土づくりを基本とし環境にやさしい手作り苗です!!

全国各地のJA（支所を含む）のほかに問屋等 200 件余りの取引先への苗出荷を通して、生産者の方々の栽培を支えています。村田の苗は全国的に高い評価をいただき、数々の賞を受賞しています。



キュウリ接木苗 7.5 cm
本葉2〜2.5 枚まで



トマト接木苗 9.0 cm



ナス接木苗 7.5 cm
本葉 4.5〜5.5 枚



ピーマン苗 9.0 cm
本葉8〜10 枚まで

育苗種類はキュウリ、トマト、ナス、メロン、スイカ、カボチャなど多種類に及びます。ここに示したのはほんの一例です。

ご注文はお近くのJA、種苗店等を通じてご用命いただいています。なお、お問い合わせは下記へ。



(株) 村田農場

〒791-0214 愛媛県東温市南野田734-1

TEL 089(964) 7878 FAX 089(964) 0406

ネットからのご注文も承っています。 <http://muratafarm.co.jp>

最高の苗作りをお手伝いします

TY 育苗ポット培土

果菜類、花卉、その他鉢上げ用

50ℓ入り

(製造充填時容量)



- 7つの微量元素(マンガン・ホウ素・鉄・亜鉛・銅・マグネシウム・モリブデン)入り。
- 通気性・保水性・透水性に優れた「育苗培土」です。
- 生育に最適なpHに調節してあります。
- 軽量設計で作業性がアップします。

<使用上の注意点>

- 最初に使用する際は、十分に灌水して下さい。
- 栽培中は本品を乾燥させないようにして下さい。
- 初期生育の肥料が入っておりますが、状況に応じて追肥を行って下さい。

【肥料添加量 mg/ℓ】

チッソ	リンサン	カリ	pH	EC
200	600	200	5.5~6.5	1.0 以下

スイカ・メロン・接ぎ木台木・小松菜
ハクサイ・からし菜・ニラ等の育種元



東洋農事株式会社

〒309-1127 茨城県筑西市桑山 2000-1
電話 0296(57)2225(代) FAX0296(57)9712

好評発売